

KARIBU

TANZANIA

短い短い
タンザニア滞在記。

2012.8.20
~ 8.31

564.0062

吹田市垂水町1-22-1

エプロビオティック SALON
PINO.

はじめに...

「タンザニアの農村体験をしませんか」という
キャッチフレーズのツアー。アフリカに興味はある
けど観光には万全と興味のない私をくすぐる。
さらに音楽（ゴゴンの音楽集団 ナビテ）、
彫刻（マコデ彫刻）、絵画（ティンガ・ティンガ派
絵画）観賞といった芸術にも角虫られる。
その上、25万という格安な値段。

「もう、行くしかない!!」

このツアーを企画しているのは、タンザニア
ダリエスサラム市内（以下ダル）にある
JATA ツアーズと武庫川にあるマイチケットという
旅行会社。さらに、南部アフリカネット7-7
が関わっている。

タンザニアと日本を何らかの形でつないでいる
という目的で企画されている「オルタナティブツアー」
でした。

行程...

見送って頂きました!

8/30(木) COCOビーチであたり...

空港へ向かう。(出発 16:45)

南国リゾート!!

8/20(月) ツア-6名・マイケット 藤原さん 閑空集合 (21:30)

エミレ-ツ 航空にて 出発 (22:45)

8/21(火) ドバイにて トランジット

ダレスサラム 着 (15:15)

市内 RAHA HOTEL フェックイン

夕方 ウェルカムパーティー (インド米料理)

ドバイ空港は
スゴイ!!



学生3人
シニア3人

東京の
参加者170人
合流

6人旅が始まる...
とてもいい思い出
でした。ありがとう!!

8/31(金) 閑空着!! (17:20着)

Asante Sana (アサンテ サナ)

ありがとう ございました!!

タンザニアについて...

首都 ダレスサラム
(立法首都 ドドマ)
人口 約 400万人

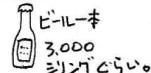
面積 日本の約 2.5倍
(945,087 km²)

気候 熱帯サバンナ気候
3~5月 大雨季 11~12月 小雨季
12~2月 最も暑い 6~8月 乾燥して
涼しい。

言語 スワヒリ語が 国語・公用語
アフリカでは 識字率が高い。
(72.6% 2008年)

産業 農業 (綿花・コーヒー・糸茶・タバコ
カシュー・ナッツ、サイザル麻など)
観光、鉱業

10,000
通貨は
シリング。
10,000シリング
で約500円。



ビール一本
3,000
シリングぐらい。

☆ 1961年 イギリスから 独立した タンザニア と
1963年 独立した ザンジバル が 1964年
4月26日に 合邦して 成立した 連合国家。

8/22(水) 市内観光

国立博物館・魚市場・カンガ通り
村落博物館・マコンデ(周遊)
テンガテンガシク 絵画 観賞

美味しいぞ



描き
ました!!

マコンデは、
一本の木(黒檀)に
複雑なデザインを
周りに連ねていく。
すく細密な周遊。

8/23(木) バガモヨ 移動

カレ 遺跡・カトリック教会・手ビテ 観賞

... 4 ネムボロ
プレゼントあり!

ゴゴムの音楽集団。
素直音!!

8/24(金) バガモヨ

手ビテ WORK-SHOP 参加

市内に戻る

☆ 月曜の美しい
ビーチリゾート地!!



楽し WORK!!

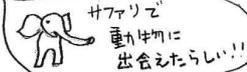
「ムハク」という女性のダンス

太鼓を
足で挟んで
叩きながら
唄い踊る。

8/25(土) 村移動

ILカニ村へ
キコシウケル村へ

8/26(日) - 28(火) 村滞在



サファリで
重たい物に
出会えたらいい!!

美味しいぞ

8/29(水) 市内へ移動

クワヘリ(お祭り)パーティー (中華米料理)

ILカニ村 滞在記.

8/25(土) 朝 7:00 ダル市内出発



7:00のガビガバな大形バスで出発。
11時間ぐらいの旅。後で分かったけど、
ランチを挟んで、前1回、後1回のトイレ
休憩しかない。前1回のトイレは施設が



Mr. アレックス
も「早く帰りたい!!」
JATAツアーの
アレックスさんの村。
彼が同行してくる。

あるが、後1回は「ブッシュ・トイレ」。ちよと、女性にはちよと「厳しい?」



トイレは当然混み合う。バスから催促の
クワクワ音がなると、トイレから一斉に女性か
「Bado!!」(まだ!)と叫ぶのが面白かった。

ランチタイムも短いので、ランチBOXを買ってもらって車内で

食べる。



ごはん、ピラウ(炊き込みごはん)
野菜も十分あって、量も中味も自分で
選べて美味しい!!

途中、
ドリンクサービスが
あるんだけど、
ボトルが心細くて、
飲みませんでした...

残念!



Moshi (モシ) に 6:00PM ごろ着く。キリマンジャロがくっきり
見え、疲れを吹飛ばしてくれる!! 素敵です!!

そこから迎いの軽トラに乗り込んで、
家まで送ってもらう。1.5時間ぐらいかな。



人を乗る
荷物も乗る!!

8/26(日) 教会のミサに参加。

タンザニアは、イスラム教とキリスト教が半々ぐらいらしい。
ILカニ村は、キリスト教が多い。アレックスさんは、教会の
ボランティアシガーらしく、パートナーとCDも作るらしい。
ミサは午前中いっぱい行なわれ、教会音楽(ゴスペル?)が
何度も唄われ、楽しかった。司祭さんの講話は、子守唄でした!!
ミサの後、教会の前で、お供え物のオクシオンが始まる。



ミサの時、現金で寄付
できない人は、野菜や農産物
をお供えをする。その後、

オクシオンで村人によってお金の
教会の寄付金にする。

いいシステムだなあと感心した。

8/27(月)

2日目は、アレックスさんの火田を見学。ババ、とうもろこし、
コーヒーを作っている。フェアトレードのコーヒーの共同作業所も
見学した。ILカニ村は、京大の辻村先生の支援で2001年
より、フェアトレードコーヒー栽培が始まっている。

村の中心にあるコミュニティー・センターは、フェアトレードを基に
できあがった施設。さらに中学校建設へと進んでいる。

フェアトレード珈琲を手に入れた方は、

<http://www.kyowas.co.jp/> (キョワズ珈琲) まで

8/28(火) View Pointへ キマロ先生と行く。

村のフェアロード・コーヒ栽培、水の管理に関わる68才のキマロ先生に、「View Point」という眺めの良い場所へ連れて行ってもらう。

ルカニ村は 標高1500m以下の高原の村なので、赤土の道はアツク、ダウニングしている。その道をキマロ先生は先頭立ち、軽快に歩いていく。健康だ!!



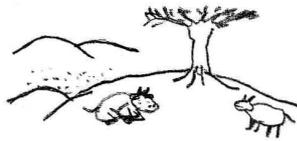
日よりに行った教会を抜け、小学校に行く。学校は休みだけど、7年生の子どもがテスト勉強していた。タンザニアは義務教育だが、2nd Schoolに行くにはテストにpassしなければ落第する。なかなか厳しい。

その次に見えたのは、建物の周りに花が植えられた清潔感のある所。村の診療所的な場所だった。国際機関の援助を受け、ベッドなどが支給されていた。



次に2nd. Schoolを通り、おんおん登る。キマロ先生は、行く道すがら、いろんな家に声を掛けていく。コミュニケーションの大切さを感じた。

途中、村が一番古い、バナナの葉でできた家を見せてもらう。お金も家族もないという老女一人暮らし。自分の小さな畑を耕して生活しているらしい... 複雑な思いになった...



水を管理する施設が「PINK」にあり、それも見せてもらう。なだらかな(?)な斜面は、きれいに耕すため、いろんな

作物が育っている。畦の横には、キリマンジャロからの疎水が流れている。

よく「View Point」に着く。牛が何頭かいて、大きな木が一本目印として立っている。

風が心地良く、涼しく、素晴らしい場所だった。



今回は、時間の都合上、かけ足で作ったミニミニ旅行記。村滞在中、ご飯を作ってくれていたマローズィーアと子ども達のことも書けていない。楽しい市場の話も省田る。この続きは、ブログ、またはPINOニュースで書けたら、と思っています。
<http://salon-pino.com>

とにかく、JATAツアーズ、東西・南部アフリカネットワークの下垣垣さん、そしてそれに使われる方々の皆さんのおかげでタンザニアの暮らしに角虫められたことに感謝しています。

Asante Sana!!

タンザニアに行きたい方は...

(株) マイチケット 03-3222-7800(東京)
06-4869-3444(大阪)

<http://www.myticket.jp>

最後まで読んで頂いて、有難うございました。PINO・松井真実子

